



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社  
 コード番号 7433 URL http://www.hakuto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 龍三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-3412  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	68,743	△3.5	1,957	3.3	2,000	△3.2	1,346	△14.1
2018年3月期第2四半期	71,268	30.8	1,894	183.6	2,067	170.3	1,567	206.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,732百万円 (△36.8%) 2018年3月期第2四半期 2,739百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	64.51	—
2018年3月期第2四半期	73.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	86,374	54,759	63.4	2,621.90
2018年3月期	84,796	53,583	63.2	2,568.01

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 54,759百万円 2018年3月期 53,583百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	20.00	—	26.00	46.00
2019年3月期	—	20.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 特別配当 6円00銭

2019年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	7.6	4,500	21.3	4,700	25.7	3,400	4.3	162.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	24,137,213株	2018年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	3,251,904株	2018年3月期	3,271,467株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	20,877,848株	2018年3月期2Q	21,229,674株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(表示方法の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の貿易摩擦の深刻さが増し、影響拡大懸念が強まったものの、大型減税による景気上昇が続く米国経済と減速傾向ながらも底堅い中国経済の下支えにより安定状態を維持しており、我が国経済においても、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、データストレージ関連やカーエレクトロニクス分野などの拡大により、半導体への需要が引き続き高い水準で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループの電子部品事業については、車載向け半導体デバイスは好調を維持したものの、メモリーカードの取扱い中止の影響もあり、電子部品事業全体で前年同四半期より減収となりました。

電子・電気機器事業においては、スマートフォン向けプリント基板用露光装置の販売が好調を維持し、半導体製造関連分野においても堅調であったことから、電子・電気機器事業全体で前年同四半期より増収となりました。

工業薬品事業においては、石油・石油化学産業向け触媒と重合禁止剤の販売は引き続き好調に推移し、また、化粧品基剤も伸長した結果、前年同四半期より増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は687億43百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

損益面につきましては、当第2四半期連結累計期間の連結売上総利益は93億37百万円（同0.7%増）となり、連結販売費及び一般管理費として73億79百万円（同0.0%増）を計上した結果、連結営業利益は19億57百万円（同3.3%増）、連結経常利益は20億円（同3.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億46百万円（同14.1%減）となりました。

また、1株当たり四半期純利益は64円51銭となり、前年同四半期より9円34銭減少いたしました。

報告セグメント別の経営成績につきましては、次のとおりです。

#### [電子部品事業]

電子部品分野では、半導体デバイスにおいてタブレット向け製品は在庫調整等の影響が続き軟調となりましたが、車載用途製品の需要は好調を維持しており、民生・産業機器向けについても堅調に推移いたしました。なお、前年第1四半期中に取扱いを中止したメモリーカードにつきましては、同四半期の販売高は41億24百万円となっております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は525億23百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は8億52百万円（同12.1%増）となりました。

#### [電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、中国地域においてスマートフォン用レンズ製造向け蒸着装置の販売は軟調となりましたが、スマートフォン製造関連の台湾系企業を中心にプリント基板露光装置の販売は好調を維持いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は108億99百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は6億39百万円（同5.5%増）となりました。

#### [工業薬品事業]

工業薬品分野では、紙・パルプ分野では世界的な省資源化の影響を受けて需要が減少傾向にあり、製紙用薬品の販売が伸び悩みましたが、石油化学分野での底堅い需要を反映し、触媒、重合禁止剤の販売が堅調に推移しました。また、化粧品分野においてもバイオポリマーの販売が伸長いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は53億12百万円（前年同期比7.0%増）、セグメント利益は4億81百万円（同11.8%増）となりました。

#### [その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第2四半期連結累計期間の売上高は3億45百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は17百万円（同39.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が15億77百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品が10億72百万円、受取手形及び売掛金が8億71百万円増加したためであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して、4億2百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債務が13億16百万円増加したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して11億75百万円増加し、547億59百万円となりました。これは主に、利益剰余金が7億71百万円、為替換算調整勘定が3億67百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは14億26百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは2億82百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは19億86百万円の支出となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して7億13百万円減少し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額3億71百万円等と合わせ、当第2四半期末は89億4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加額8億23百万円、法人税等の支払額5億5百万円等の支出要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益20億7百万円、仕入債務の増加額7億11百万円等の収入により、営業活動によるキャッシュ・フローは14億26百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には仕入債務の増加等により7億61百万円の収入となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出1億88百万円、投資有価証券の取得による支出1億17百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは2億82百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得による支出等により、4億5百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の純増減額18百万円等の収入がありましたが、短期借入金の返済による支出(純)9億15百万円、配当金の支払額5億42百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは19億86百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、自己株式の増加額等により、78百万円の支出となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2018年4月27日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,428	8,904
受取手形及び売掛金	29,622	30,493
電子記録債権	5,005	4,821
商品及び製品	21,657	22,729
仕掛品	36	45
原材料及び貯蔵品	523	585
その他	1,634	2,285
貸倒引当金	△16	△5
流動資産合計	67,891	69,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	940	951
機械及び装置（純額）	2,236	2,130
土地	3,069	3,069
その他（純額）	493	530
有形固定資産合計	6,739	6,682
無形固定資産		
	453	372
投資その他の資産		
投資有価証券	9,253	8,960
繰延税金資産	128	117
その他	365	413
貸倒引当金	△35	△30
投資その他の資産合計	9,711	9,460
固定資産合計	16,904	16,515
資産合計	84,796	86,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,812	15,512
電子記録債務	2,292	3,608
短期借入金	6,432	5,377
リース債務	21	20
未払法人税等	632	755
賞与引当金	896	903
役員賞与引当金	16	—
製品保証引当金	7	6
その他	1,817	2,489
流動負債合計	27,930	28,673
固定負債		
長期借入金	1,246	871
リース債務	23	57
繰延税金負債	1,605	1,601
役員退職慰労引当金	11	13
退職給付に係る負債	381	381
その他	14	16
固定負債合計	3,282	2,941
負債合計	31,212	31,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	38,980	39,751
自己株式	△5,492	△5,473
株主資本合計	48,877	49,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,306	4,249
繰延ヘッジ損益	△18	20
為替換算調整勘定	793	1,161
退職給付に係る調整累計額	△376	△340
その他の包括利益累計額合計	4,705	5,091
純資産合計	53,583	54,759
負債純資産合計	84,796	86,374

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	71,268	68,743
売上原価	61,995	59,406
売上総利益	9,273	9,337
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,340	2,355
賞与引当金繰入額	799	817
退職給付費用	238	247
その他	4,000	3,958
販売費及び一般管理費合計	7,379	7,379
営業利益	1,894	1,957
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	193	110
持分法による投資利益	34	14
その他	51	65
営業外収益合計	283	195
営業外費用		
支払利息	16	24
売上債権売却損	23	44
為替差損	63	74
クレーム処理費	2	3
その他	3	4
営業外費用合計	110	152
経常利益	2,067	2,000
特別利益		
事業譲渡益	29	—
子会社清算益	20	—
固定資産売却益	8	1
投資有価証券売却益	—	34
その他	4	4
特別利益合計	63	40
特別損失		
固定資産除売却損	2	1
倉庫移転費用	—	31
その他	0	0
特別損失合計	2	33
税金等調整前四半期純利益	2,128	2,007
法人税等	560	660
四半期純利益	1,567	1,346
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,567	1,346



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,567	1,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,031	△57
繰延ヘッジ損益	17	39
為替換算調整勘定	79	367
退職給付に係る調整額	44	35
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	1,171	385
四半期包括利益	2,739	1,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,739	1,732

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,128	2,007
減価償却費	448	341
賞与引当金の増減額 (△は減少)	75	1
受取利息及び受取配当金	△197	△114
支払利息	16	24
持分法による投資損益 (△は益)	△34	△14
事業譲渡損益 (△は益)	△29	—
子会社清算損益 (△は益)	△20	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△34
固定資産除売却損益 (△は益)	△6	17
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9	△15
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,632	△200
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,598	△823
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,529	711
その他	△63	△72
小計	620	1,829
利息及び配当金の受取額	210	127
利息の支払額	△16	△25
法人税等の支払額	△53	△505
営業活動によるキャッシュ・フロー	761	1,426
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△110	—
有形固定資産の取得による支出	△299	△188
有形固定資産の売却による収入	8	1
無形固定資産の取得による支出	△35	△2
投資有価証券の取得による支出	△45	△117
投資有価証券の売却による収入	—	41
事業譲渡による収入	37	—
その他	39	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405	△282
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	22,300	31,005
短期借入金の返済による支出	△20,818	△31,920
リース債務の返済による支出	△11	△9
長期借入れによる収入	900	—
長期借入金の返済による支出	△541	△537
自己株式の増減額 (△は増加)	△1,470	18
配当金の支払額	△437	△542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78	△1,986
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	129
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	338	△713
現金及び現金同等物の期首残高	7,748	9,245
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	371
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,086	8,904

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、Hakuto America Inc. 及びHakuto Czech s. r. o. は重要性が増したことにより、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、在外子会社の重要性が増していることに鑑み、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を平準化し、会計期間を通じて発生する損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものです。この変更に伴い、前四半期連結累計期間については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前四半期連結累計期間の売上高が557百万円、営業利益が17百万円、経常利益が18百万円、税金等調整前四半期純利益が18百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益14百万円、それぞれ減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期期首残高は233百万円減少し、為替換算調整勘定は同額増加しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結会計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「売上債権売却損」は、金額的重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結四半期累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた26百万円は、「売上債権売却損」23百万円、「その他」3百万円として組み替えております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。これに伴い、前連結会計年度の連結貸借対照表は当該会計基準の改正等を遡って適用した後の数値となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	55,602	10,694	4,965	341	71,602
セグメント利益	760	606	431	12	1,810

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	52,523	10,899	5,312	345	69,080
セグメント利益	852	639	481	17	1,991

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

売上高	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
報告セグメント計	71,602	69,080
セグメント間取引消去	△334	△336
四半期連結財務諸表の売上高	71,268	68,743

(単位: 百万円)

利益	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
報告セグメント計	1,810	1,991
のれんの償却額	△5	△5
その他の調整額	89	△28
四半期連結財務諸表の営業利益	1,894	1,957

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。